

シリーズ中核市移行①  
～本市は中核市移行を目指します～

今月号から「中核市」に関するさまざまな情報をシリーズでお知らせします。

より充実した行政サービスを提供するための都市制度

本市は現在、平成28年4月に中核市へ移行することを目指し、長崎県と協議や調整を行いながら準備を進めています。中核市とは、政令指定都市など都市制度の一つ。都市の事務権限を拡大することで、より充実した行政サービスを提供し、地方分権を推進することなどを目的としています。中核市になると、これまで県が担っていた事務や権限の一部(身体障害者手帳の交付、保育所など社会福祉施設の設置認可、民生委員の定数決定など)が市へ移譲されることになります。

中核市を目指します！

現行制度では、人口規模により、政令指定都市、中核市、特例市、一般市に分類され、本市は現在、特例市となっています。本年4月に制度が変更されることが決まっており、人口20万人以上を要件としていた「特例市」は廃止され、「中核市」は要件が人口30万人以上から20万人以上に引き下げられることになりました。これにより中核市の要件を満たすことになった本市は、これまで以上に充実した行政サービスを市民の皆さんに提供するため、中核市への移行を目指し、現在さまざまな準備を進めています。

要件など 都市区分	人口要件	
	平成26年 4月1日 現在	平成27年 4月1日 以降
政令指定都市(20市)	50万人以上	50万人以上
中核市(43市) ※県内では長崎市	30万人以上	20万人以上
特例市(40市) ※県内では佐世保市	20万人以上	特例市の廃止
一般市(687市)		

※都市区分の( )内は昨年4月1日現在の全国の都市数。

問 行財政改革推進局 ☎24-1111

シリーズ私の3しい⑤  
「佐世保の楽しい」(海きらら編)



市民一人一人に、佐世保の3つの「しい」(美しい、楽しい、おいしい)を持ってもらい、PRしていただく「させぼ観光3しいGO！作戦」。今回は「佐世保の楽しい」で、ハウステンボスに次いで多くのご意見が寄せられた「海きらら」をご紹介します。

- 小さい子どもも楽しめる海きらら。特にイルカショーが感動します。(27歳・女性)
- 海きららのイルカのショーが楽しいです。直接水が掛かって迫力があります。(32歳・女性)
- 海きららの大水槽の前に立つと心が癒やされます。(48歳、女性)
- イルカのショーやパルクエーンでの九十九島遊覧が楽しいです。(45歳、男性)

海きららの人気者！イルカに会いに来ませんか？



海きららのイルカプールではハンドウイルカのナミとニーハ、ハナゴンドウのリリーが元気いっぱい泳いでいます。「イルカのプログラム」では、イルカ同士のジャンピングキャッチボールなど、ここでしか見ることができない大技を披露します！イルカたちも皆さんの来場を楽しみにしていますので、どうぞ会いに来てください。

【イルカのプログラム】

開催時間 10時20分、13時20分、15時20分  
(約20分間)

場 所 九十九島イルカプール2階

※イルカの体調により、中止する場合があります。

問 観光物産振興局 ☎24-1111

シリーズ九十九島⑦  
九十九島の野鳥



ツルの北帰行の様子

自然豊かな九十九島周辺では、多くの野鳥を見ることができます。その種類は約120種と言われ、本市で見られる野鳥のおよそ5割を占めています。九十九島周辺に野鳥が多く訪れる理由としては、次のことが挙げられます。

- ① 入り組んだ入り江など複雑な地形をしているので、隠れる場所が多い
- ② ドングリや魚介類などの餌が豊富
- ③ 島に天敵が少ない
- ④ 江楯池(大瀧町)など、近くに休憩できる場所がある

今春、九十九島パールシーリゾートで就航予定の九十九島海賊遊覧船「みらい」のフィギュアヘッド(船首像)にデザインされたミサゴ(右写真)も、九十九島周辺で見ることができる野鳥です。タカの仲間、獲物を見付けると空中に静止した後に急降下し、水面近くで獲物を捕らえます。「水を探る」ことから「ミサゴ」と言われるようになったという説もあります。



また、本市はアカハラダカやツルの渡りのコースになっており、1月下旬から3月にかけて、ツルが越冬地である鹿児島県出水市から北の繁殖地(シベリア)へと帰って行く様子が見られます。このツルの渡りのことを「北帰行」といい、本市は北帰行が観察できる数少ないポイントとなっています。観察できる回数、上空を通過する羽数の点でも、全国有数の観察地の一つです。野鳥が多く見られるこの時季に、ぜひバードウォッチングに出掛けてみてはいかがでしょうか。

【ツルの北帰行を観察できる場所】

石岳展望台、冷水岳、展海峰、九十九島動物園など

問 観光物産振興局 ☎24-1111

今回のテーマは「文化芸術の次世代育成」  
市長とキラっ人トーク 参加者募集



第13回キラっ人トーク「子どもの読書活動」の参加者の皆さん(昨年12月15日)

市長と市民が直接意見交換する第14回「市長とキラっ人トーク」を実施します。

これは市民第一主義の考え方を基調に、チャレンジ(挑戦)、チェンジ(変革)、コミュニケーション(対話・意思疎通)の3Cにより、常に進化する市政を目指すため、生活者である市民の視点や意見を広く行政に生かし、全国に誇れる元気で活力ある「ひとづくり」と「まちづくり」を推進するために実施するものです。

今回は次のことをテーマに開催しますので、どうぞご参加ください。

- と き 2月25日(土)12時～13時30分  
※日時は変更する場合があります。
- と ころ 市役所5階・副市長応接室
- テ ー マ “キラっ都”文化で輝くまちづくり  
～文化芸術の次世代育成について～
- 対 象 文化芸術の次世代育成のために市内で企画・運営・指導などに取り組んでいる人
- 定 員 6人程度
- 申込方法 応募用紙に必要事項を記入し、  
郵送 〒857-8585、住所不要  
ファクス 25-2184  
Eメール hishok@city.sasebo.lg.jp  
のいずれかで秘書課へ
- 締め切り 2月10日(土)必着(応募者多数の場合は選考させていただきます)

※応募用紙は市ホームページからダウンロードできます。

※ひとづくり、まちづくりのための意見交換の場です。

要望・陳情の場ではありませんのでご了承ください。昼食は市で用意します。

問 秘書課 ☎24-1111